

□ トピック □ 排水管内の汚れ放置していませんか？

工場や厨房において、特定の虫が見かけられるようになったり、排水枡の近くに設置しているライトトラップにコバエ類(チョウバエやノミバエなど)が多く捕獲されるようになったりした場合、埋設の排水管内が発生源である事例が非常に多く見られます。排水管内は、食品の残渣や有機物の汚れなどが付着していたり、排水が停滞していたりすることがあるため、コバエ類などの発生源となりやすい場所です。また、排水管内は残渣や汚れに加え、相対的に湿度や温度も安定しているため、冬場の寒い時期でも湿潤環境を好むハエ、ゴキブリなどの生息場所としても良好といえます。一方で、排水管は埋設されており、普段使用している清掃道具ではなかなか清掃することもできないことから、清掃箇所として見過ごしてしまいがちな場所です。そのため気温が上がった春先にかけて虫が大量に発生し、異物として混入してしまうケースもあります。

排水管内の防虫対策としては、排水枡の水封を維持する、また開放型の場合には、排水管内の清掃をしっかり行うことが大切です。



チョウバエ



ノミバエ



クロゴキブリ

□ お知らせ □ 排水管内高圧洗浄



配管洗浄中



配管洗浄後

上記のように、排水管は配管内に食品残渣や汚れが付着、蓄積することで、コバエ類の発生や悪臭の原因になるにも関わらず、洗浄する手間がかかるため、放置されやすい箇所のひとつです。

弊社では排水管内の汚れに対しては、排水管内高圧洗浄施工をお勧めしています。代表的な工法は、スクリー型のヘッドが先端に取り付けられたノズルを配管内に挿入し、押し引きを繰り返しながら、排水管内の付着物や停滞物等を除去するものです。このノズルは、排水管の曲がりに対応しているため、曲がっている排水管内も洗浄することができます。

排水管内高圧洗浄は配管内の防虫対策のみならず、汚れや残渣(油分など)を除去することにより、つまり防止や配管の延命対策にもつながるため、定期的に行うことが大切です。

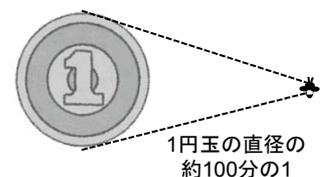
弊社には専門のスタッフもいますので、悪臭やつまりの防止、衛生害虫(ゴキブリ、コバエ類など)でお困りの際はぜひ一度ご相談ください。

□ 豆知識 □ 最小昆虫

昆虫は、比較的小さい生き物ですが、地上で確認されている最小飛翔昆虫をご存じでしょうか？アザミウマタマゴバチ(Megaphragma属)という寄生蜂が最小飛翔昆虫としてギネスブックにも認められています。このアザミウマタマゴバチは名前の通り、アザミウマ(成虫の体長約3.3~0.7mm)卵(約0.2~0.5mm)に寄生し、体長は0.18mm(180μm)と肉眼で見ることができないほど、小さな昆虫です。アザミウマタマゴバチは全世界で5種類が知られており、いずれもアザミウマの卵に寄生することが確認されています。形態は、前翅に長い縁毛があり、飛ぶというよりは空中に浮いて移動するといった飛び方に適した形態をしています。また、神経系、消化系、呼吸系などの内部構造を具えています。

なお、このコバチは寄生卵の中で越冬をし、5~9月に活動が活発になります。

アザミウマタマゴバチのように、微小の昆虫で見ついているものはまだごくわずかですが、これから世界中でもっと小さな昆虫が発見されていくかもしれませんね。

1円玉の直径の
約100分の1

総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)